

菊薫る季節に

年 組 番 名前

斜面

2020.11.12

菊薫る季節である。散策をしていると今を盛りと咲く庭先などの菊に出合う。花の色も形も実に多彩だ。先日は

日当たりの良い空き地の土手に、野菊が群がって自生しているのを見つけた。直径2〜3センチの淡い青紫色の花を広げている。中央の筒状花は黄色だ。ノコンギクだろう

か。野に咲く紺色の菊を意味している。よく似た中部以西のヨメナと並んで野菊の代表格だ。栽培品種に比べれば華やかさはない。しつとりとした風情がある。弱々し

いように見えて、**慎み深い強さ**が感じられる。◆歌人の俵万智さんが人生の秋を迎えたという40代に詠んだ歌がある。〈秋の陽に淡く満たされ野菊らは自分探しの旅を思わず〉。野菊は野菊であることに、疑問を抱いたりしない。あるがままで美しい。その完結した潔さに心が惹かれた。自著「風が笑えば」にそう書いている◆ひところ

秋にも、身の回りではさまざまな花が咲いています。その一つが野菊です。野菊の姿から感じられる風情や心根（こころね）について書かれたコラム「斜面」を読んでみましょう。

① 次の言葉の読みと意味を調べましょう。

風情――

潔さ――

「自分探し」がもてはやされた。

今の自分は本当の姿ではないとの否定からではなく、今の自分や居場所を肯定してから出発しなくては不満を吐き出す場所探しにしかない。「自分は自分のままでいい」という心境を野菊に重ねたのだろう◆下伊那郡松川町では住民が天竜川河川敷などに自生する町天然記念物ツツザキヤマシノギクの保護活動に取り組んでいる。ノコンギクに似ているが、こちらは細長い筒状の花びらが特徴だ。身近に咲く野菊に目を向ければ秋は一段と味わい深い。〈足元に日のおちかゝる野菊哉〉小林一茶。

(2020年11月12日朝刊・1面)

② 傍線部②「野に咲く紺色の菊を意味している」の主語は何ですか。文節で書きましょう。

③ 傍線部③の、筆者が感じた野菊の「慎み深い強さ」を俵万智さんはどこに見ていますか。ア〜ウより選び○を付けましょう。

ア 見る人が野菊であることに疑問を抱く余地がないほど、あるがままの姿で明確に自己を主張しているようす。

イ 自らが野菊であることに疑問など抱かない、秋の澄んだ空気に自然と溶け込むことのできる清らかなこころの美しさ。

ウ 自らが野菊であることに疑問を抱かず、あるがままですとよしとして揺れ動かないきっぱりとしたこころ。

④ 次の（ ）に、本文中にある二十字以内の言葉を入れましょう。

俵万智さんの歌では、かつて自分探しの旅を思った作者が、人生の秋を迎えて到達した（ ）と

同じものを秋に咲く野菊の心として感じ取り、自己を肯定する姿に共感している。

⑤ 筆者の見つけた野菊、俵万智さんの歌や一茶の句に詠まれている野菊に共通しているのは、野菊のどんな情景ですか。

菊薫る季節に

解答例

年 組 番 名前

斜面

2020.11.12

菊薫る季節である。散策をしていると今を盛りと咲く庭先などの菊に出会う。花の色も形も実に多彩だ。先日

日当たりの良い空き地の土手に、野菊が群がって自生しているのを見つけた。直径2〜3センチの淡い青紫色の花を広げている。中央の筒状花は黄色だ。ノコンギクだろう

か。野に咲く紺色の菊を意味している。よく似た中部以西のヨメナと並んで野菊の代表格だ。栽培品種に比べれば華やかさはない。しつとりとした風情がある。弱々し

いように見えて、慎み深い強さが感じられる。◆歌人の俵万智さんが人生の秋を迎えたという40代に詠んだ歌がある。秋の陽に淡く満たされ野菊らは自分探しの旅を思わす。野菊は野菊であることに、疑問を抱いたりしない。あるがままで美しい。その完結した潔さに心が惹かれた。自著「風が笑えば」にそう書いている。◆ひと

秋にも、身の回りではさまざまな花が咲いています。その一つが野菊です。野菊の姿から感じられる風情や心根（こころね）について書かれたコラム「斜面」を読んでみましょう。

① 次の言葉の読みと意味を調べましょう。

(ふぜい)

風情—しみじみとした味わい

(こわきよ)

潔さ—思い切りのよさやさつぱりとした小気味のよさ

「自分探し」がもてはやされた。

今の自分は本当の姿ではないとの否定からではなく、今の自分や居場所を肯定してから出発しなくては不満を吐き出す場所探しにしかない。「自分は自分のままでいい」という心境を野菊に重ねたのだろう。◆下伊那郡松川町では住民が天竜川河川敷などに自生する町天然記念物ツツザキヤマシノギクの保護活動に取り組んでいる。ノコンギクに似ているが、こちらは細長い筒状の花びらが特徴だ。身近に咲く野菊に目を向ければ秋は一段と味わい深い。◆足元に日のおちかゝる野菊哉」小林一茶。

(2020年11月12日朝刊・1面)

② 傍線部②「野に咲く紺色の菊を意味している」の主語は何ですか。文節で書きましょう。

【解答】 「ノコンギク」という

名前

③ 傍線部③の、筆者が感じた野菊の「慎み深い強さ」を俵万智さんはどこに見ていますか。ア〜ウより選び○を付けましょう。

ア 見る人が野菊であることに疑問を抱く余地がないほど、あるがままの姿で明確に自己を主張しているようす。

イ 自らが野菊であることに疑問など抱かない、秋の澄んだ空気に自然と溶け込むことのできる清らかなこころの美しさ。

ウ 自らが野菊であることに疑問を抱かず、あるがままでよしとして揺れ動かないきっぱりとしたこころ。

④ 次の()に、本文中にある二十字以内の言葉を入れましょう。

俵万智さんの歌では、かつて自分探しの旅を思った作者が、人生の秋を迎えて到達した()「自分は自分のままでいい」という心境()と同じものを秋に咲く野菊の心として感じ取り、自己を肯定する姿に共感している。

⑤ 筆者の見つけた野菊、俵万智さんの歌や一茶の句に詠まれていた野菊に共通しているのは、野菊のどんな情景ですか。

【解答】

【例】野菊が穏やかな秋の日差しを受けて静かに咲いている情景